



星が丘中学校だより

第9号

令和6年12月17日

発行責任者 小倉克則



令和6年度スローガン 「達成感を味わおう」

上記QRコードより、「星が丘中学校」ホームページもご覧ください。

堂々の準優勝

市P連バレーボール大会の2日目が、12月1日（日）に行われ、本校PTAは、堂々の準優勝に輝きました。

準決勝の姿川中戦は、試合開始から連続得点するなど、危なげない試合運びで、2-0で勝利。続く決勝では、2年連続の顔負けとなった強打の宮の原中に対して、粘り強いレシーブで応戦したものの、惜しくも勝利することはできませんでした。

選手の皆さんは、「3連覇を果たせず残念だが、スポーツを通して多くの人と交流することができてとても楽しかった」と、感想を語っていました。



聾学校との交流会

11月26日（火）、1年生のボランティア委員14名は、聾学校の中学部の生徒との交流会に参加しました。最初に事前に練習した手話を使って自己紹介をした後、聴覚障害についての説明を聞いたり、絵を使ったしりとりゲームをしたりして、交流を深めました。

参加した生徒からは、「これからもほかの手話を覚えてみたいと思った」「手話がわからなくても、目を見て話してくれたり、大きく手で表現してくれたりして、人の温かさに触れることもできた」「聴覚障害の人と会話をする方法として、指文字、手話、筆談などの方法があることがわかった」「聾学校の人は、口もとを見ていた気がしたから、マスクを取り、ゆっくり話すほうが良いことに気づいた」「補聴器の種類や、聴力検査を月に2回していることがわかった」などの感想が聞かれました。

今回の交流を通して、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きることの大切さを体感できたのではないかと思います。



試練の季節

11月27日に中間テスト、12月2日には実力テストがあり、それに加えて、12月1日の下野模試を受験した生徒もあり、多くの3年生が11月の終わりから12月の初めにかけて、テスト漬けのハードな1週間を過ごしたようです。3年生に話を聞くと「テストで間違えたところの確認に追われて大変です」「マークシートのテストは簡単そうで難しかったです」「早く今の生活から解放されたいです」など、生の感想を聞かせてくれ、現在の生活の実態がうかがえます。

この冬休みには、私立高校の入試がはじまるなど、いよいよ受験が近づいてきました。

3年生には、くれぐれも体調管理に気をつけて、自信をもって当日を迎えてほしいと思います。

そして、自分なりに努力した、よく頑張った、と胸を張ってこの学び舎を巣立ってほしいと願っています。



性といのちの健康教育

12月3日(火)、助産師であり、性教育に関する講演を数多くされている 柚木理恵 先生を講師にお招きして、性に関するお話を聞かせていただきました。

この講話は、第二性徴を迎え、心も体も大きく変化する中学1年生を対象に毎年行っているもので、正しい性の知識を身につけて、適切な意思決定や行動ができるようにすることを目的としています。

講話の内容は、男女の体の仕組み、精通や月経についてやその対処法など、中学生にとっては、興味・関心が高く、悩みの種になることばかりで、とても勉強になりました。

まとめでは、「皆さんの存在自体がかけがえのないことであり、尊いこと。だから自分自身を大切にしてほしい。そして、周りの人にも優しくしてほしい」と、生まれてくることの奇跡についてお話しいただき、自分自身の生き方や家族や友人に対する接し方を見直すことができたのではないのでしょうか。

生徒の皆さんには、もし、体や心のことで、悩みがある場合には、一人で悩まず、両親等の信頼できる大人や医師をはじめとした専門家に相談してほしいと思います。



学習と生活についてのアンケート及び学習内容定着度調査

10日(火)、全学年を対象に、今年度の学習と生活についてのアンケートを、11日(水)には、3年生を対象に、学習内容定着度調査を実施しました。

本アンケートは、児童生徒の学習への意識や取組状況、生活の様子などを把握するために、平成18年度から、定着度調査は、児童生徒の学習についての実態を的確に把握するために、平成15年度から、本市独自に行っている調査です。

アンケートの主な質問項目は、「学校や家庭での学習について」「毎日の生活について」「健康や食事について」などがあり、質問数は140項目程度。定着度調査は、国、社、数、理、英の5教科です。結果は3月上旬頃公表されます。

どちらも本市児童生徒の指標となるものですので、結果に注目していただき、今後のお子様への支援の際の参考にいただければと思います。



薬物乱用防止教室

13日(金)、本校学校薬剤師の 保坂 恒 先生を講師にお迎えし、薬物乱用防止教室を実施しました。

厚生労働省等の統計によると、令和4年の少年の大麻事犯の検挙人員は917人で、そのうち、高校生は150人、中学生も11人いたそうです。講話では、

- ・市販の薬も正しい使い方をしないと乱用になる。
- ・薬物を乱用すると、激しい脱力感・倦怠感に襲われ、幻覚に悩まされたり、歯が溶けたりするなどの症状が起きる。
- ・ひどい場合は、脳に障害が発生し、死に至ることもある。
- ・万が一、誘われた場合は、「危ないと聞いたので結構です」「僕はやめておきます」など、はっきり断ることが大切である。

などのお話をいただきました。薬物は、人生を台無しにする恐れがあるものです。ご家庭でも、薬物の危険性について、話題にいただければと思います。



1月の主な行事予定

8日(水) 授業再開、全校集会	21日(火) PTA役員会・理事会
9日(木) 教育相談、三者懇談(～23日)	22日(水) 専門委員会、中央委員会
14日(火) 学年末テスト(3年)実力テスト(1,2年)	23日(木) 学校保健・学校給食委員会
15日(水) 登校指導B、あいさつ運動A	30日(木) スキー教室(2年)、特色選抜出願
17日(金) 進学先中学校訪問(小6)	31日(金) 働く人に学ぶ(1年)